

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 12 月 19 日 (2019.12.19)

【公開番号】特開 2017-125603 (P2017-125603A)

【公開日】平成 29 年 7 月 20 日 (2017.7.20)

【年通号数】公開・登録公報 2017-027

【出願番号】特願 2016-217289 (P2016-217289)

【国際特許分類】

F 1 5 D 1/12 (2006.01)

B 6 4 C 21/10 (2006.01)

B 6 4 C 3/14 (2006.01)

【F I】

F 1 5 D 1/12

B 6 4 C 21/10

B 6 4 C 3/14

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 11 月 7 日 (2019.11.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

翼型であって、

内側端部と、この内側端部とは反対側の外側端部と、

第 1 の側と、前記第 1 の側とは反対側の第 2 の側と、

前記第 1 の側に結合された連続するパネルであって、前記第 1 の側は前記翼型の低圧力側であり、前記パネルが、第 1 の不均一な縁部パターンを有する第 1 の縁部を備え、前記第 1 の縁部はその上に配置された少なくとも 4 つの頂点を含み、前記パネルが、前記翼型の内側端部から外側端部まで延びている前記パネルと、を有し、

前記パネルは、更に、このパネルの表面に結合され且つこのパネルの長さに沿って均一に設けられた 1 又は 2 以上の渦発生器を有する、翼型。

【請求項 2】

前記第 1 の不均一な縁部パターンは対称である、請求項 1 に記載の翼型。

【請求項 3】

前記第 1 の不均一な縁部パターンは非対称である、請求項 1 に記載の翼型。

【請求項 4】

前記第 1 の不均一な縁部パターンはジグザグパターンである、請求項 1 に記載の翼型。

【請求項 5】

前記第 1 の不均一な縁部パターンは波状パターンである、請求項 1 に記載の翼型。

【請求項 6】

前記パネルは、更に、第 2 の不均一な縁部パターンを有する第 2 の縁部を有する、請求項 1 に記載の翼型。

【請求項 7】

前記第 1 の不均一な縁部パターンは、前記第 2 の不均一な縁部パターンと同じものである、請求項 6 に記載の翼型。

【請求項 8】

前記 1 又は 2 以上の渦発生器は、前記第 1 の不均一な縁部パターンと実質的に同じ角度に配向される、請求項 1 に記載の翼型。

【請求項 9】

前記 1 又は 2 以上の渦発生器は、前記第 1 の不均一な縁部パターンと異なる角度に配向される、請求項 1 に記載の翼型。

【請求項 10】

前記 1 又は 2 以上の渦発生器のうちの少なくとも 1 つは台形である、請求項 1 に記載の翼型。

【請求項 11】

前記 1 又は 2 以上の渦発生器のうちの少なくとも 1 つは矩形である、請求項 1 に記載の翼型。

【請求項 12】

翼であって、

前記翼の内側端部と、前記内側端部とは反対側の前記翼の外側端部と、

低圧側と、この低圧側とは反対側の高圧側であって、前記低圧側及び前記高圧側は、これらの低圧側及び高圧側を空気が流れ去るときに、前記高圧側に合力を生じるように形成された前記低圧側と前記高圧側と、

前記翼の低圧側に結合された連続するパネルであって、このパネルが、第 1 の不均一な縁部パターンを有する第 1 の縁部と、第 2 の不均一なパターンを有する第 2 の縁部と、前記パネルの表面に結合された 1 又は 2 以上の渦発生器と、を備え、前記第 1 の縁部はそれに配置された少なくとも 4 つの頂点を含み、前記パネルが、前記翼の内側端部から外側端部まで延びている前記パネルと、を有し、

前記パネルは、更に、このパネルの表面に結合され且つこのパネルの長さに沿って均一に設けられた 1 又は 2 以上の渦発生器を有する、翼型。